

1. 件 名：実機材研究に関する意見交換
2. 日 時：令和3年10月26日(火)16時00分～16時40分
3. 場 所：原子力規制庁 16階B会議室（web開催）
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

池田技術研究調査官

皆川技術研究調査官

渡辺技術研究調査官

芳賀技術研究調査官

原子力エネルギー協議会：1名

関西電力株式会社：2名

中国電力株式会社：3名

5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）が実施する安全研究プロジェクト「実機材料等を活用した経年劣化評価・検証に係る研究」の「電気・計装設備の健全性評価に係る研究」において使用する目的で、関西電力株式会社及び中国電力株式会社から弁駆動部及びケーブルの貸与を受けることについて意見交換を行った。

関西電力株式会社より、美浜発電所1号炉において、弁駆動部の一部は提供可能であるが、至近での工事予定がないことから、取出し費用が発生するとの説明があった。また、機器の汚染状況により機器の提供が困難になる場合があるとの説明があった。弁駆動部の取出し範囲等の詳細については、引き続き協議することとなった。

次に、中国電力株式会社より、島根原子力発電所2号機のケーブル取替予定について説明があった。取替え工事は2021年度から2025年度にかけて実施する予定であり、取替えの範囲等については検討中との説明があった。また、関西電力株式会社と同様に機器の汚染状況により機器の提供が困難になる場合があるとの説明があった。規制庁より、取替ケーブルを貸与いただく場合には、余裕を持った長さを確保していただけること及び通常運転時の使用環境条件等に関する情報を貸与いただけることを希望している旨説明した。これに対し、中国電力株式会社より、現場の布設状況等を確認して検討する旨回答があり、詳細については、引き続き協議することとなった。

6. その他

提出資料：島根2号機「長期施設管理方針の実施計画」に基づく難燃PNケーブルの取替予定について